

(広報委員一同)

「奉仕団??」こんな事してますよ!!

今年は稲刈り後の圃場に例年以上に「ひこばえ」が伸びて、それが黄色い稲穂を付け、昨年に続き冬にはほぼ降雪がない状態で、これも気候変動の表れかと思えます。

令和6年は能登半島地震に始まり、全国でも多くの災害が発生しました。このような有難い際は「炊き出し」により被災者に温かい食事で「癒し」を提供する活動を行いますが、これには男手・女手と多くのマンパワーが必要となります。また平時においても、被災地への募金活動や街頭での献血啓発など、各地域の赤十字奉仕団が独自の計画で活動を展開しております。

しかしながら、現在市内の団員数は854名。男性団員数も増えてきているものの54名と、いずれも県下で6位に過ぎません。このような時代だからこそ、赤十字奉仕団の活動をさらに広め、その精神を次世代へと繋いでいく必要があると感じています。

受け売りですが「きょういく」「きょうよう」という言葉があります。「今日、行くところがある。」「今日、用事がある。」どうですか？ 頻繁にはありませんが、「たまには」赤十字奉仕団と一緒に活動してみませんか。連絡をお待ちしております。



赤十字奉仕団
高島市地区委員会
委員長 足立 功

～消防本部で新装備を見学～ 災害支援講習会

令和6年10月17日に災害支援講習会として高島市消防本部を訪れ、令和6年3月に県下で初めて配備された「拠点機能形成車」を見学しました。

大量の資機材を運ぶことのできる車両内部を見学し、資機材の説明を受けました。今の簡易トイレは優れたもの。用便を凝固剤によって固形化し、可燃ごみとして処理することが出来ます。

災害時にトイレは一番大切。日頃からの備えの重要性をあらためて実感しました。

トイレが大切!



令和6年度高島市地区赤十字 奉仕団一日研修会

令和6年7月1日に今津東コミュニティセンターで赤十字奉仕団の一日研修会を行いました。

清水佐代子指導講師をお招きし「赤十字奉仕団の活動と魅力」と題して守山市での活動のご講演と安曇川赤十字奉仕団からの活動報告を行いました。

団員数が全国的に減少し確保が難しくなる中で、地域に密着した活動の大切さと、その中で感じられる魅力をおして、今後、赤十字奉仕団がどう進むべきかを考えさせられる研修会でした。



むかしあそび体験コーナー たかしま子どもフェスティバル

令和6年12月8日にガリバーホールで子どもフェスティバルが開催されました。赤十字奉仕団の「むかし遊び体験コーナー」には多くの子どもたちと保護者の方が来場されました。

コマ回し、けん玉、お手玉等々。子どもたちは楽しそうに一所懸命。保護者の方も「わあ懐かしい〜」「昔よくやったなあ〜」とコマ回しや紙飛行機作りに夢中に。大人にとっては懐かしい遊びも、子どもたちにとっては新鮮な「新しい遊び」だったのかも!!



これ、コマっていうの!?



～健康と環境～ 高島市地区委員会委員研修

令和6年11月14日に日本赤十字社近畿ブロック血液センターと、京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」を訪れました。

近畿ブロック血液センターは輸血用血液製剤をつくり必要な方へ供給している所です。献血に関する様々な知識を学びました。

さすてな京都は、ゴミ発電やバイオマス化等を行っている大きなゴミ処理施設ですが、ゴミを減らす暮らしが何より大切です。



地域の中で 学びと実践! ～わたしたちにできること～

詐欺の実態を学ぶ 「安心・安全教室」 を開講

マキノ

10月10日、町の駐在さんから「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」「ロマンス詐欺」の赤裸々な実態を紹介の後、道の横断時は左右に注意をはらう心構えを学びました。交通安全協会婦人部のご支援もいただき、50余名が安全に対する意識をあらためた一日でした。

また、駐在さんの実家が能登にあり、現地の被災状況をお聞きしました。能登復興の願いをこめて駐在さんに万雷の拍手を送り、意義ある一日に感謝しました。



手作りのクリスマス マズプレゼント で笑顔を!

今津

今津赤十字奉仕団では、年末に一人暮らしの高齢の皆さまに手作りのプレゼントをお贈りしています。毎年とても喜んでいただくので、こちらも温かい気持ちになります。

いつも団員のアイデアで何を作るかを考えるのですが、今年はくみボタンのマグネット。受け取っていただく笑顔を思い浮かべながら、みんなで可愛らしいデザインに仕上げました。



くつき米まつり ～千人鍋で 豚汁づくり～

朽木

10月26日、くつき米まつりが開催され、昨年に続き豚汁コーナーの依頼を受けました。買い出し、前日の下処理、当日の調理と大量の材料で大変でしたが、多くの奉仕団員の協力で無事提供することができました。

“美味しかった〜!!”の声に喜びを感じました。奉仕団の使命の一つである有難い際の炊き出し、バッチリ訓練できました。

“炊き出しはお任せ下さい!!”



“地域の方へ 想いを込めて” 小学生とリース作り

安曇川

JRC(青少年赤十字)活動をされている小学生の皆さんと、芋のつるの収穫から仕上げまで一緒にリース作りをしました。

地域の一人暮らしのお年寄りに何かをしたいと同じ想いをもち、作業中は児童たちの発想に感心しながら楽しく作りました。

みんなの想いがつまった可愛いリースを届け、一人暮らしの方が年末を温かい気持ちで過ごされ、近況もお伺いでき楽しい訪問でした。



延暦寺清掃奉仕、 地域防災力を高める 防災研修

高島

10月初旬、「延暦寺清掃奉仕」と「県危機管理センターでの防災研修」を実施しました。私たちが清掃をしていると「ありがとうございます」と何人にも声をかけていただきました。

その後、危機管理センターで防災についての研修を行いました。日頃から防災に関する情報は多いですが、いざとなったらどのように行動できるか考えさせられ、地域防災力を高めることが大切だと実感しました。



ロケットストーブで “おいしい”ご飯

新旭

辻沢区防災訓練に炊飯担当として参加しました。

「何これ?」「これだけの木片で本当に湯が沸くのか?」とロケットストーブを初めて見る人達は興味深々。一升の米を12個のハイゼックス袋に分けて湯煎しました。

最初は、「え!!これで食べれるのか?」と不安の声がありましたが、10分間蒸らしてから配膳すると「おいしい〜♪」と好評でした。



お米炊けた!